記入例

様式第３号　（第８条関係）

事業計画書（１－１）

１　事業名称	**狛江市観光ガイド養成講座**

２　事業の目的（事業を実施する前提となった問題点、社会背景、期待される効果等を交え、具体的に記入してください。）

現在、毎年１回程度、街歩きツアーを行っているが、今後は規模を広げて年３回程度開催したいと考えている。しかし、ツアーの準備にあたっては資料の作成や広報活動など、様々な事務処理が必要であり、現在の人数ではこれ以上の事業拡大は不可能である。そのため、最低５人程度の補充を行い、街歩きツアーを年３回程度開催し、より多くの方に狛江市を知ってもらうため、ガイドの養成講座を開催する。

事業の公益性についても記載してください

３　事業の内容

①　実施場所

講座は市内の公民館や地域センターで実施
街歩きは多摩川などの景勝地や市内の史跡を中心に市内全域で活動

②　対象者

狛江市民及び狛江市に関心のある方

③　告知方法

ポスターの掲示・チラシの配布・団体ホームページ・SNS 等により行う。

④　具体的内容／事業実施体制

「狛江市観光ガイド養成講座」
翌年からガイドとして活躍できる人材の育成をめざし、狛江市の観光ガイドを行うにあたり必要な知識の修得を目的とした講座を全３回開催する。
前半の１回は他自治体の観光ガイドの事例や、案内中の注意点等について、他自治体で観光ガイドを務めている方を講師として招き実施する。
後半の２回は、大学講師等の専門家による狛江市の歴史や自然などの講座を開催する。また、座学のみでなく適宜街歩き等も実施する。

補助金が交付されることでできること、充実すること等についても記載ください。

事業計画書（１－２）

４　事業実施スケジュール

５月下旬　：案内チラシ配布、ポスター掲示
６月上旬　：第１回養成講座開催
７月上旬　：第２回養成講座開催
８月上旬　：第３回養成講座開催

５　事業の自己ＰＲ

（実施事業について、どういう点が優れているかなどを項目ごとにわかりやすく記入してください。）

1	先駆的であり、将来性のある事業であるかどうか。 **狛江市の魅力を伝えることに特化したガイドを養成することで、狛江の魅力を伝え続けることができる市民の裾野を広げ、将来に渡って市内外に狛江をアピールすることが可能となる。**
2	市民のニーズや地域性に適合した特徴のある事業であるかどうか。 **狛江の歴史や景勝地など魅力溢れる場所を紹介するガイドを養成することで、市内各地域の活性化を図ることができる。また、転入者だけでなく長く狛江に住んでいる市民にとっても地域の中で新しい魅力を発見する機会となる。**
3	事業計画及び収支予算に現実性があり、自己資金確保に努めるなど、自助努力の工夫がなされているかどうか。 **全３回の養成講座は狛江市の観光ガイドを行うにあたり必要な知識を修得するのに妥当な回数である。また、広告料や会費を収入として見込んでおり、自己資金確保に努めている。**
4	事業の実施により相当の効果が期待できるかどうか。 **すでに他自治体で観光ガイドを務めている方や、歴史・自然等の専門家を講師として招くことで広範な知識の修得が期待できる。また、座学だけでなく適宜街歩きをプログラムに組み込むことでより実践的に学ぶことができる。**
5	事業を行う団体が、将来自立して活動できる可能性が期待できるかどうか。 **この養成講座により団体の人員を拡充することで、街歩きツアーを毎月１回程度開催するなど事業を拡大させていくことできる。これにより観光ガイドに対する市内全体の認識が高まりさらなる会員増が期待できる。**